



進修館だより 交流マップ

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様を、マップに掲載していく形でご紹介します！



■ 町外・団体・サークルの皆様

- ・(株) 彩和とらすとサービス (白岡市小久喜)
- ・杉戸町障がい者支援センター (杉戸町清地)
- ・日の出 (幸手市中)
- ・(株) あおば保険事務所 (春日部市中央)
- ・白田陽介税理士事務所 (久喜市久喜東)
- ・CAFE パロキア (久喜市昌蒲町)
- ・入間市文化創造アトリエAMIGO! (入間市仏子)
- ・象設計集団 東京事務所 (東京都狛江市)
- ・象設計集団 十勝事務所 (北海道河東郡音更町)
- ・沖縄県今帰仁村役場 (沖縄県国頭郡今帰仁村)
- ・(一社) 今帰仁村観光協会 (沖縄県国頭郡今帰仁村)
- ・(株) 国建 北部事務所 (沖縄県名護市宮里)
- ・森の交流館・十勝 (北海道帯広市)
- ・ふれあいクラブ (宮代町宮代台)
- ・～語りと和楽の芸人衆～ かたりと (東京都北区)
- ・カンパニーヒュッゲ (春日部市上蛭田)
- ・シェアリッチ株式会社 (茨城県古河市)

■ 進修館だよりで交流させていただいている自治会をご紹介します！ (50音順)

- | | | | | | |
|----------|---------|----------|-------------|------------|----------|
| ・内野 | ・逆井地区 | ・中央第1町会 | ・東地区自治会 | ・宮代1丁目第2町会 | ・和戸2丁目1 |
| ・笠原2丁目町会 | ・宿 | ・中央第2町会 | ・東条原自治会第1地区 | ・宮代学園台自治会 | ・和戸2丁目2区 |
| ・川端一区自治会 | ・新中町会 | ・ディアコート | ・東条原自治会第2地区 | ・宮代台自治会 | ・和戸3丁目 |
| ・川端二区自治会 | ・新道三区町会 | ・道佛1区 | ・姫川二区自治会 | ・桃山台自治会 | ・和戸4丁目1区 |
| ・川端三区自治会 | ・新道第一町会 | ・中須地区 | ・姫宮南団地自治会 | ・山崎 | ・和戸4丁目2区 |
| ・国納北 | ・新道第2町会 | ・中寺地区自治会 | ・藤曽根地区 | ・柚の木二区自治会 | ・和戸5丁目地区 |
| ・国納南 | ・辰新田町内会 | ・西原 | ・宮代1丁目1町会 | ・和戸1丁目町内会 | |



■ 五社神社

一棟の建物内に「熊野三社・白山・山王」の五社が合わせ祀られているので「五社神社」。一棟に五社を祀ったものとしては県内唯一で埼玉県指定有形文化財に指定されています。御神体は5面の鏡。2月14日には「みかん投げ」が開催されます。



Community Center Shinsyukan

進修館だより

■ 2月号の目次

- 1P: 表紙「スキップ広場から望む光路」
- 2P: 「みやしる町のいろいろ」
「みやしる公園再発見！」
- 3P: 「地区自治会におじゃまします！」
「ちょこっとコラム with セキ薬品」



4P: 「進修館NEWS」

「進修館をアートで彩る」始動！
施設からのお知らせ

5P: 「進修館NEWS」

2023年度「不惑のつどい」受付締め切り迫る！
「親子でクラシック in 進修館 vol.2」開催報告

6P: 「まちの皆様インタビュー！」
「沖縄県 今帰仁村だより」

7P: 「デジタルQ&A」

「季節のリズムに合わせた養生ライフ」

8P: 裏表紙「進修館だより交流マップ」

進修館だより 2024年2月号 (第35号) 第1版: 2024/01/28 発行
 発行元: 宮代町立 コミュニティセンター進修館
 (指定管理者: 特定非営利活動法人 MCAサポートセンター)
 住 所: 〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1 TEL: 0480-33-3846
 URL: <https://www.shinsyukan.or.jp> E-mail: info@shinsyukan.or.jp



みやしろ町のいろいろ

宮代町の気になるところを訪問したり調べたり。雑学を交えつつ宮代町のいろいろを見てみました。

◆ 宮代の歴史を垣間見る ～1972年(昭和47年)の和戸～ [国土地理院の航空写真より]



先日、とある企画で和戸地区の航空写真を出力しました。1972年の様子なのですが、なかなか興味深い様子が伺えるので、少し紹介しようと思います。

和戸駅ができたのは1899年。その下辺りに須賀小学校(1916年)と須賀中学校(1947年)。写真右下には日本工業大学(1967年)があります。写真の左上には、まばらに家が建っている宮代台(1971年に開発・分譲)。写真中央の辺りには寺社などの林が見られます。こう見ると、1972年には今の和戸地区の原型のようなものができあがっていますね。ちなみに、東武動物公園は1981年開園なので、このときはまだありません。

みやしろ公園 再発見!

宮代町内にはところどころに小さな公園があります。お散歩や子育てに。あなたの知らない公園を再発見!

◆ みやしろ中央公園

公園情報 [みやしろ中央公園]

住所：中央1丁目1番
遊具：滑り台、雲梯、砂場
休憩：ベンチあり。水道あり。トイレなし。
備考：東武動物公園駅から徒歩5分。近隣に複数の商業施設あり。園内に東武鉄道杉戸工場で使用されていた転轍機(てんてつき)のモニュメントがある。

東武動物公園の西口から、無印良品、東武ストアを超えて、少し線路沿いに歩いたところにある公園。2015年にできた比較的新しい公園で、お子さんが遊んだり、大人が休憩したりする設備はだいたい揃っています。元東武鉄道杉戸工場の跡地ということもあって、線路風の石畳や駅名標のオブジェなど、電車や駅をイメージさせる作りになっています。転轍機(路線の進行方向を変える装置)のところで線路風の石畳が別れているあたり、ちょっとしたこだわりも。子どもだけでなく鉄道好きの方も楽しめる公園だと思います。



公園内にある転轍機(てんてつき)。この場所は東武鉄道の杉戸工場があった場所で、1943年からずっと機関車・貨車の整備が行われていました。その後、2004年に南栗橋に機能移転されたため、この地は空き地となりましたが、2012年の土地区画整理事業によって、公園として整備されました。その際、工場で使われていた転轍機が公園のモニュメントとして設置されました。



駅側から。左に球状のオブジェ、右に転轍機。



滑り台の滑降部は3本。面白い作りです。



駅方面。左から水道、駅名標オブジェ、砂場。



砂場。ピンクの象のオブジェがあります。



「中央公園」というだけあって、さすがの立地。周囲には「東武ストア」「無印良品」といった大型商業施設などに加え、町内事業者のお店も数々立ち並んでいます。お買い物かてら立ち寄ってみたり、食事をテイクアウトして食べたりと、いろいろな使い方ができそう。少し外れると閑静な住宅街で、そのあたりに公園が点在しているので、公園めぐり散歩とかも面白そう。進修館も徒歩圏内ですよ!

地区自治会におじゃまします!

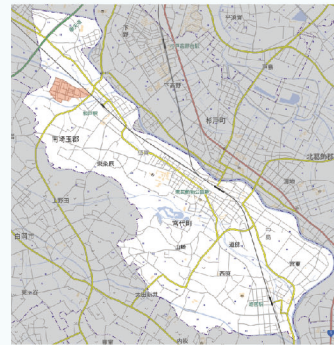
このコーナーでは、宮代町内の地区・自治会の取り組みや地域の特徴などをお届けいたします。

◆ 宮代台自治会

自治会情報 [宮代台自治会]

【構成】

宮代台
1~3丁目
758世帯



東武伊勢崎線和戸駅から北西へ約500mに位置する宮代台は、民間開発により基盤整備がなされた一戸建て住宅を主体とした住宅地です。この住宅団地を支える町内屈指の会員数をもつ宮代台自治会にお話を伺いました。

【組織力の高い自治会】

1972年に発足した宮代台自治会は、町長の認可を受けて法人格を取得した認可地縁団体となっています。当初から活発な自治会活動を行っており、夏祭りや文化祭など大型の催しを、自治会内の実行委員会が主導して開催していました。また、自治会運営のためのしっかりした体制が生まれ、その運営のために自治会集会所内の事務所には30年以上前から事務局員が配置されています。こうした組織力を活かし、自治会内広報紙「宮代台ニュース」のみならず周年記念誌や活動記録などの発行も行われてきました。



【サマーフェスタ】

従来の夏祭りから規模を見直して開催されたサマーフェスタ。会場となった集会所には子どもたちの笑顔があふれました。

【抱える課題】

宮代台自治会にも、会員の高齢化や役員となり手不足など、どの自治会も抱える課題があります。また、住民の入れ替わりによる自治会への希薄化など、住宅団地だからこそ抱えています。自治会規模が大きいことから事業実施にかかる負担も大きくなります。殊に催し物に関しては、継続することによってモチベーション維持が図られてきましたが、コロナ禍による3~4年間の事業活動休止によって、実行委員として関わってきた住民の高齢化などもあり、見直しを余儀なくされています。

【自治会運営検討委員会を発足】

こうした中、役員会の外部組織として自治会運営検討委員会(以下「検討委員会」)を発足し、新しい自治会のあり方の検討をはじめています。この検討委員会は自治会



【オリジナルパークをつくろう!】

宮代台エリア内にある4つの公園の役割や使い方のほか、誰もが利用できる公園について話し合いました。

長経験者などから構成されています。自治会規約や集会所使用料・自治会費の見直し、役員・組長の負担軽減を目的とした組織改革などについて検討し、役員会への提言を行っています。組織として役割分担することで、役員や組長を引き受けた住民の決定責任の加重軽減が図られています。また、町が実施している公園活用事業のモデル地区として、自治会エリア内にある公園を地域住民がさらに活用できるよう、整備を検討しています。住民が楽しみにしている催し物についても、規模や実施方法を見直しながら今年度再スタートしました。

規模の差こそあれ、どの地域でも抱えている課題を、組織力を活かして乗り越えよとしている宮代台自治会。今後の展開が注目されます。

ちょこっとコラム with セキ薬品

このコーナーは(株)セキ薬品さんのご協力のもと、読者の皆さまに楽しんでいただける様々な情報をお届けしています。

◆ セキ薬品のマークは、なぜ「チューリップ」?

ドラッグストアセキに行くと、いつも流れているあのメロディ。「チューリップマークの〜、セ〜キ薬品♪」もう身近すぎて当たり前のように感じていますが、改めて考えてみると、ちょっと疑問。「なぜチューリップなんだろう?」

セキ薬品のホームページを見てみると、次のように記してありました。「チューリップは『セキ薬品』の代表者の母・故関美恵子の故郷、富山県の県花にもなっていま

す。また、会長・社長の青春時代の象徴的な存在だった、バンド「チューリップ」にも、ちなんでいます。地域にしっかり根をはったお店を作りたい。そのような想いが込められています。」なるほど、代表のお母さんへの想いが会社のシンボルになっているんですね。あと、以前社長とお話した際に、若い頃にバンド活動をしたと仰っていたので、その時の思い出や憧れの気持ちも込められているようですね。

ドラッグストア セキ
SEKI

社名：株式会社 セキ薬品
住所：宮代町百間4-2-22
代表取締役会長 関 伸治
代表取締役社長 関 善夫
(会長・社長は、百間中学出身)

2023年12月
創業50周年
を迎えました!

進 修 館 N E W S

進修館 オープンカレッジ「進修館をアートで彩る」始動します！

進修館は、建築や家具の素晴らしいことでも有名です。そうしたデザイン性の高さから、アートに携わる方々からの評価も高く、作品展示や空間を活用した劇の上演などのご相談もいただきます。そこで、進修館を利用し自らアート活動を展開することをテーマに、「進修館オープンカレッジ」を開催します。

■ 進修館オープンカレッジとは？
「進修館オープンカレッジ」とは、様々な世代が定期的に集まって、地域の課題ややりたいことを話し合う場です。1つのテーマで複数回集まり、語り合うことで、新たな仲間との出会いがあるかもしれません。

「進修館をアートで彩る」オープニングセッション

日時：2024年3月20日(水・祝) 会場：進修館 2Fロビー 参加費：無料

「進修館のデザインについて(仮)」お話し会

進修館建設の際、現場責任者となっていた元象設計集団の西尾貞臣氏をお招きした、進修館の建物や家具のデザインについての講演です。このすばらしいデザインが、どのようなプロセスで生み出されたのか？そこに秘められた関係者の思いについて伺います。

トークセッション 「進修館におけるアートの可能性(仮)」

昨年度から進修館で開催しているアートプロジェクト「へそたんけん」を事例に、オーディエンス参加タイムも設けながら、進修館でのアート活動の可能性について話します。



■ 「へそたんけん」とは？

2023年3月にスタートしたアートプロジェクト。進修館を設計した象設計集団は、世の中にあるたくさんの中心が交流する場所、すなわち「世界の中心」のひとつとなるように、との思いを込めました。そんな進修館に集まる表現者たちが、それぞれ大切にしていること(「おへそ」)を会期中思いっきり表現し合い、自分、他者、地域などの関係を改めて体感する機会をつくることを目的としています。2024年3月も開催を予定しています。

開催日程等の詳細は、進修館ホームページ等でお知らせします！

【施設からのお知らせ】 進修館施設をご利用になる際は「利用許可書」をご提示ください。

進修館の施設をご利用の際は、入室前に、申請時に発行された「利用許可書兼領収書」または「利用承認書」(以下「許可書等」)を受付にご提示いただくようお願いいたします。

- ☑ Web予約の場合、スマートフォン等にダウンロードした許可書等の画像を提示してください。
- ☑ 「紙」の許可書の場合で、利用申請した方以外の方が先に来館して施設の利用を開始する際には、許可書等のコピーまたはスマートフォンなどで撮影した画像をご提示ください。

※ 許可書等を紛失したなどの理由からご提示困難な場合には、事前に当館スタッフまでご相談ください。

2023年度「不惑のつどい」受付締め切り迫る！

「不惑のつどい」とは、町内在住・在勤、および、宮代町に縁のある40歳のみなさんが交流を図る「2回目の成人式」です。2023年度の「不惑のつどい」は、1983(昭和58)年4月2日～1984(昭和59)年4月1日の間に生まれた方で、町内在住・在勤、および、宮代町に縁のある40歳の方々がつどいます。(宮代町出身でなくてもOK！)

【開催に向け準備中！】

今年度の「不惑のつどい」は、開催までいよいよ1か月と少し。1月7日(日)に実施した第4回実行委員会には6人の委員が出席し、当日のフードやドリンクはどこから購入するか、どんなゲームなら誰でも楽しめるか、会場のレイアウトはどうするかなど、これまでより具体的に話し合いを進めることができました。

参加者のみなさんにとって素敵な思い出になるよう、委員みんなでアイデアを出し合っていますので、当日を楽しみにしてください！

【まだまだ参加申込OK】

受付開始から約20日、1月19日時点で37人から出席の回答をいただいています。申し込み締め切りは2月10日(土)、対象は「今年度40歳になる、

宮代にゆかりのある人”みなさんです！まだ出欠の回答をしていない人、この記事で「不惑のつどい」を知った人、ぜひ二次元バーコードからお申し込みください。

詳細情報・参加受付はこちらから↓

2023年度 不惑のつどい

2024年3月9日(土) 14:00～17:00 開催!

【受付締切】 2024年2月10日(土)

実行委員メンバー紹介②

「不惑のつどい」を企画しているメンバーが自己紹介します。宮代在住のメンバーもいます♪



早川と小林は前原中、原田は須賀中出身です！

【左・早川愛(旧姓:青木)】

茨城県で男子3人の子育て中です。最近、息子たちの日常が自分の子供時代と重なることが多く、その度に宮代での懐かしい記憶が蘇っています。みなさんに会えるのを楽しみにしています。

【中・小林悠佑】

他自治体の市役所でまちづくりに関する業務をしています。住み心地の良さから抜け出せず、今も宮代から通勤中。委員活動や不惑のつどいを通して、懐かしい面々や新たに知り合う方と交流するのが楽しみです！

【右・原田幸代(旧姓:塩崎)】

生まれは神奈川県ですが、幼稚園の頃から現在も宮代町に住んでいるので宮代っ子です。3人の子育て真っ最中です。宮代町の豊かな自然と人の温かさに感謝し、不惑のつどいを盛り上げていきたいと思っています。

本記事は、2023年度「不惑のつどい」実行委員の方からの寄稿です。進修館だよりでは、今後も、2023年度「不惑のつどい」を応援していきます！

共催事業レポート ヒュッゲ・コンサート「親子でクラシック in 進修館 vol.2」

毎回好評を得ているカンパニー・ヒュッゲによる3ヵ月連続コンサート。今回は7月に大好評だった0歳から気軽に楽しめる「親子でクラシック」の第二弾！編成はピアノ「西村翔太郎」さん、ソプラノ「風田美穂」さん、テノール「藤田宏樹」さんの御三方。たしか夏の公演は、この編成で準備をされていましたが泣く泣く実現ならず…今回の公演への想いもさぞ強かったのではないのでしょうか？

リラックスした雰囲気の中、圧倒的な演奏・歌声はもちろん、子供たちが大好きなディズニー・ジブリナンバー、ミュージカル・クラシックなど幅広い年代の方が楽しめる内容。アーティスト幼少期の逸話、アーティストへの質問コーナーなどが、所々にちりばめられ、足を運んだ皆さんもご満悦♪終わる頃には、悪天候もどこへやら。すべてを吹き飛ばしたヒュッゲでした！きっとお子さんたちの

記憶の奥底に素敵な種がまかれたことでしょう。2月には3ヵ月連続公演のフィナーレとなる大ホール公演が控えています♪ 乞うご期待！



ヒュッゲ・コンサート at 進修館大ホール

2024年2月18日(日)

13:30開場 14:00開演 16:00閉演

【会場】コミュニティセンター進修館 大ホール

チケット 大人:3,800円 小:1,800円

全席自由

お問い合わせ: 056-254-2909

※主催:カンパニー・ヒュッゲ ※共催:コミュニティセンター進修館 ※後援:宮代町教育委員会

まちの皆様にインタビュー！



宮代町には、進修館の開館を機にできた「進修太鼓」があるのをご存じでしょうか？夏に開催される宮代町民まつりでの勇壮な和太鼓の演奏をご覧になったことがある方も多いかもしれません。今回は、宮代進修太鼓保存会・太鼓集団「風」の世話人・横手俊一さんにお話を伺いました。

【宮代町の新たな伝統芸能として】

横手さんが和太鼓と出会ったのは1987年。当時、宮代町に新たな伝統芸能を創り上げようという機運が高まり、進修館を拠点とした和太鼓集団の育成や宮代町の自然を表現した太鼓の演奏曲がつくられるなど、活発に活動していました。横手さんは、数ある太鼓集団の中の「風」に所属し、最近まで団長として活躍していました。また

その活動は、さいたま新都心の街びらき記念式典や春日部市の藤まつりなど様々な催しで演奏したほか、福島県小野町の産業祭に招待され演奏するなど、その活動は広範囲にわたっていました。こうした活動が評価され、住み良い地域社会の実現のために、積極的な実践活動を続けている個人及び団体へ彩の国コミュニティ協議会から贈られる「シラコバト賞」を1998年に受賞しました。

【活動をつづけることの難しさ】

和太鼓演奏の良さや演奏の楽しさを次世代へつないでいこうと、大人のみならず子どもたちも参加できる体験会を定期的で開催したり、宮代町民まつりをはじめとした町内外の催しでの演奏活動を続けてきました。しかしながら、宮代町内の太鼓集団の活動が停滞し始め、その数が減少していき



「バチは1年も持たないんだよ」という横手さん。ただ叩くのではなく、腕のあげ方などの形も大切とのこと。

このコーナーでは、宮代町に在住・在勤・在学など宮代町に関わる方々にお話を伺っています。

ました。「風」のメンバーも年齢を重ねてきたこともあり、大掛かりな演奏活動が難しくなる中、若いメンバーがなかなか加入してこないという課題も出てきました。さらにコロナ禍の影響により演奏だけでなく練習すらもできない日々が続きました。

【次世代へつないでいきたい】

こうした状況にあっても、横手さんの、「宮代の伝統芸能として『進修太鼓』を大切にしていきたい」という思いは強く、「次世代につなげるために」と団長を後進に引き継ぐことにしました。現在は相談役という立場で、会の今後の道筋を立てることに専念しているという横手さん。「宮代町の郷土芸能（宮代進修太鼓）が長く継承、存続の為、若手育成に努力して行きたい。」と話してくださいました。



2023年10月22日、進修館芝生広場で開催した体験会では参加者の和太鼓への関心の高さがうかがえました。

デジタルQ&A

このコーナーでは、デジタル機器（パソコン・スマホ・デジカメなど）に関するさまざまなギモンにお答えしていきます！

Q. 「ストレージの空き容量が不足しています」とは、どういう意味ですか？

A. スマホ内のデータ保存領域がいっぱい（保存できる残量が少ない状態）です。

写真や動画をたくさん撮影される方であれば、一度は遭遇したことがあるであろうこのメッセージ。簡単に言うと「データの保存領域がいっぱいだから、もう写真を撮っても保存できないよ！」ということです。この状態を解消するには、単純にスマホ内の写真や動画を削除して保存領域を空ければOKなのですが、思い出の写真や動画は削除したくないですよね。ということで、スマホの中のデータを外に移動する方法をいくつか紹介します。

【パソコンに移動する】

パソコンをお持ちの方であれば、パソコンに移動するのが手取り早いですが。方法は、USBケーブル等でパソコンと繋ぐだけ。接続後に充電のみがデータ移行も含むのか

の確認メッセージが表示されますので、データ移行の方を選びます。するとパソコンにスマホが認識されて、次のような感じに表示されます。（Windowsの場合）



左はiPhoneで、右はAndroidです。あとは、ダブルクリックして中の画像データを見つけ、パソコン内に移動すればOKです。

【オンライン領域に移動する】

GoogleドライブやiCloud、OneDrive、DropBox等を利用している方は、そちらに移動すればOK。初めから同期されてる場合もあるので、利用中のオンライン領域の設定を確認してみてください。

【直接USBメモリに移動する】

スマホに直接USBメモリを差し込んでデータを移動することもできます。



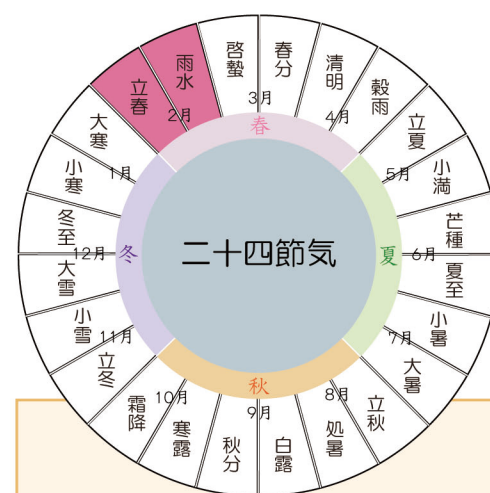
SunDiskとあるのがUSBメモリです。内部ストレージとあるのが、スマホ本体の保存領域です。（例はAndroidの場合）Filesというアプリを起動すると上記のように表示されますので、あとは選んで移動すればOK。

季節のリズムに合わせた養生ライフ♪

このコーナーでは、季節それぞれにあった健康法を紹介していきます！

2月の養生

かつては大事にされていたはずの予防を重要視する「養生」という考え方。「食事・運動・休養」のよき習慣を続け、よくない習慣は減らす。意外と普遍的で「あたりまえ」のこと。この「あたりまえ」を大事にするのも「養生」です。では、今月も始まりませう！



二十四節気（春夏秋冬をそれぞれ6つに分けたもの）だと、1月20日～2月3日にかけてが大寒（だいかん）。つづいて2月4日～立春（りっしゅん）、2月19日～雨水（うすい）と続きます。2月は暦上、もっとも寒いとされる大寒に始まり、立春から春になります。雨水の頃から寒さも徐々にやわらぎ、雪が雨へ変わるといわれているそうです。

春の三ヶ月は「発陳（はっちん）」と呼ばれ「養生」を意味します。いろいろな物が伸びやかに成長する時期で、動きの少ない冬から動きのある季節へと徐々に突入！良いも悪いも動き始めるため、アレルギーや眠っていた持病などが活動開始します。毎日の生活習慣を見直し、予防&対処できるようにしたいものです。

～春の過ごし方～

- ・少し遅く寝て少し早起き → 日の入りも変わるので、少しづつ変えていく
- ・心身ともにのびのびと → イライラしやすい季節なので、ゆったりめの服装でのびのびと
- ・適度な運動などを行う → ウォーキング等の軽めの運動で身体を動かし、めぐりをよくする
- ・暴飲暴食を避ける → 身体の解毒をうけおう、肝に負担をかけすぎないようにする

《養生ライフ》

ほんのりと暖かさを感じる頃までは先月同様、早寝早起き&保温を意識。その後、徐々に春の過ごし方に変えていきましょう！

《おすすめ食材》

身体をあたためる食材	黒豆、ねぎ、玉ねぎ、ニラ、エビ、鶏肉、レンコン（加熱）、鯖（さわら）
巡りをたすける食材	かぼちゃ、柑橘類、玉ねぎ、キャベツ、牛肉、大豆、ニンジン
デトックス	あずき、菜の花、ふきのとう、しいたけ、イチゴ、海藻類、しじみ

なきじんそん 今帰仁村だより

このコーナーでは進修館と交流のある沖縄県今帰仁村との交流の様子やさまざまな情報をお届けします。

進修館と同じ象設計集団が設計した今帰仁村中央公民館では、村のみなさんが力を合わせて開催する「なきじん夜市（よいち）」が行われています。この夜市の会場では、地元で起業している飲食店などがキッチン



2月の夜市では村の子どもたちによるエイサーの演舞などもあるそうです。（画像は昨年6月開催時のもの）

カーやテントを連ね、今帰仁の食材を使った料理や手作り工芸品が販売されます。会場となる中央公民館エリアは、村の交流拠点として再整備が進められており、その検討には住民のみなさんも参画しています。



日が落ちると、いつもの中央公民館とは違った幻想的な雰囲気になります。



来る2月17日に開催される夜市は、能登半島地震被災地への支援の気持ちが込められているとのこと。今帰仁のみなさんの「みんなで自分たちの暮らすむらをつくりあげる」という気持ちと相まって、温かい催しになりそうです。